

ピアス施術同意書

ピアスの穴あけをすることにより起こりえる、下記の合併症・後遺症につきましては、「医療過誤」とはなり得ませんのでご了承下さい。

- ①ピアスの穴をあけることにより、細菌・ウイルスなどに感染し、腫れ・赤み・痛み・熱感などの炎症症状や化膿をおこすことがあります。
- ②ピアスの穴を開けた後に出血する可能性があります。通常ガーゼ等の圧迫で出血が止まりますが、止まらない場合はすぐに当院へご連絡ください。
- ③体質によっては、ピアスの周辺にしこりができることがあります。
- ④ピアスを留めているキャッチを強くしめすぎると、ピアス・あるいはキャッチが皮膚の中に埋まってしまうことがあります。
- ⑤ケロイド体質の方は、ピアス周囲の皮膚が赤く盛り上がる可能性がありますので、当院ではお勧めしていません。強くご希望される際には上述のリスクなどについてご了承下さい。
- ⑥耳たぶの「きわ」にピアスの穴をあけることを希望される場合、耳たぶが裂けてしまう（外傷性耳垂裂）可能性がありますのでお勧めできません。また当院では、へそピアスや軟膏部位のピアッシングは一切行っておりません。 ご自身でピアスホールの位置を決めていただきます。
- ⑦ピアスの穴の完成は個人差がありますが、約1ヶ月半と考えてください。その間はファーストピアスを取り外さないで下さい。その間にピアスが外れてしまうと穴が塞がる可能性があります。
- ⑧ピアスホールが希望通りにあけられない可能性があります。その際の補償は致しかねます。
- ⑨ファーストピアスを外す際に不安な場合は、セカンドピアスご持参のうえ、受診してください。（別途料金はかかります。）

□ピアスの穴あけを行った場合の合併症の危険性について、十分に内容を理解しました。その上で、自己の責任において施術を受けることに同意いたします。

____年 ____月 ____日

ご署名

ピアスの施術を受ける方が未成年の場合

保護者の同意が必要です。（保護者の方も必ず上記内容をすべてご確認いただいた上で下記にご署名ください。）

____年 ____月 ____日

保護者のご住所

保護者のご連絡先（電話番号）

保護者のご署名

医療法人社団 躍心会

光が丘皮フ科

TEL 03-5848-6806